

## 試験研究評価シート（事前）

評価の種類	事前評価	担当名	水質環境担当
課題名 (研究テーマ)	徳島県沿岸海域及び河川における栄養塩類等の長期変動と現状について	研究者名	(正) 辻 真拓 (副) 出羽 知佳
研究期間	令和5～6年度		
予算額 (千円)	令和5年度：505千円 令和6年度：505千円	予算種類	国補 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">県単</span>
必要性	<p>瀬戸内海では富栄養化が進んだ高度経済成長期に比べ一定の水質改善が見られるものの、栄養塩類の不足や水温上昇等による水産資源への影響が問題となっている。令和3年6月に瀬戸内海環境保全特別措置法が改正され、瀬戸内海における生物の多様性や水産資源の持続的な利用の確保を図るため、湾・灘その他の海域ごとの実情に応じた栄養塩類の管理が求められるようになった。</p> <p>今後の栄養塩類管理について検討する上で、過去からの濃度推移及び現状を把握することが必要とされている。そのため、既存の栄養塩類等測定結果を取りまとめて長期変動を調べるとともに、海域や水量の多い吉野川下流における栄養塩類濃度のデータを追加取得することは重要であると考えられる。</p>		
目標	<p>既存データを集約して栄養塩類濃度等の長期変動及び濃度分布についての知見を得るとともに、海域及び吉野川下流（表層・底層）における栄養塩類濃度の追加調査や考察を合わせて、施策につながる基礎資料とすることを旨とする。</p>		
研究内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 海域及び河川における栄養塩類濃度等の長期変動及び濃度分布を把握する。</li> <li>2 海域における栄養塩類濃度の通年変動を調査する。</li> <li>3 吉野川下流における表層及び底層の栄養塩類濃度の季節変動及び変動幅を調査する。</li> <li>4 吉野川下流における栄養塩類濃度への干満の影響について調査する。</li> </ol>		
手法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公共用水域の水質測定及び広域総合水質調査等、既存の栄養塩類等測定結果を集約したデータベース、グラフ及び分布図を作成する。</li> <li>2 海域の栄養塩類濃度を通年で測定する。</li> <li>3 吉野川下流の表層及び底層の栄養塩類濃度を季節ごとに測定する。</li> <li>4 吉野川下流において干潮満潮前後の栄養塩類濃度の測定を行う。</li> </ol>		
その他	<p>【参考】 令和4年4月1日施行 瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律概要</p>		